

国立女性教育会館（NWEC）では、7月23日～9月24日、「ジェンダー平等の視点から学校を変える」をテーマに、初等中等教育機関の管理職・教職員、教育委員会及び教育センター等の管理職・管理主事・指導主事・職員、教育長・教育委員等を対象とした研修を実施し、全国から555名が参加しました。

本研修では、初等中等教育におけるジェンダー平等の促進に向けて、国の最新施策や学校教育分野における男女共同参画の現状・課題の把握、教職員自身の働き方や女性の管理職登用の促進、多様な児童生徒への対応についての理解、組織の実情に合わせた課題解決の方策等を学ぶことを目的としています。

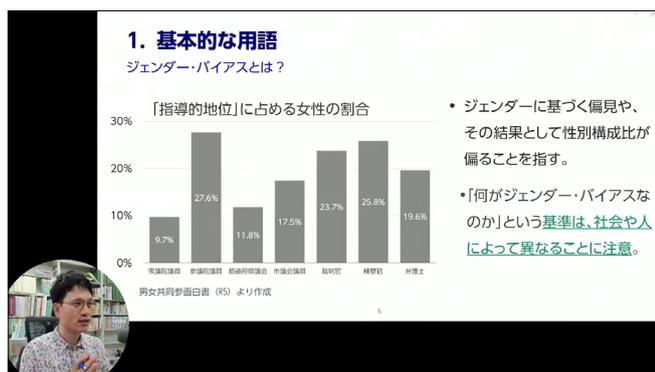
研修期間中は、オンデマンド配信によるプログラムを提供するとともに、8月19日には、「教職員のワーク・ライフ・バランス」「女性の管理職登用とキャリア形成支援」「児童生徒への多様な対応」「学校における男女共同参画推進に必要な連携」の4つのテーマで、ライブ配信による情報交換会（希望者のみ）を実施しました。

互いを尊重する環境づくりの必要性と意義、ジェンダー平等を進めていくために必要な視点、学校教育の役割、国の教育分野に係る施策、職場環境づくり、学校現場における実践事例について言及され、参加者は各組織・地域における課題解決に向けたヒントを得ることができました。



↑ 情報交換会「学校における男女共同参画を推進していくために」

研修全体の満足度も大変高く、参加者からは「自分や組織がいかにアンコンシャスバイアスに縛られているかということに気づき、また全国に同じような気持ちで戦っている人がいることを知ることができた」「当たり前を当たり前と考えないことの大切さ、無意識で差別化していることについて、改めて振り返る機会になり、教員として気を付けなければいけないことだと実感できた」等の感想が寄せられました。



↑ 講義「学校におけるジェンダー平等を推進するために必要な視点とは」

学校教育においては、男女共同参画やジェンダー平等についての関心が少しずつ高まってはいるものの、教職員の働き方、女性の管理職登用、児童生徒の多様なニーズへの対応等、課題は山積しています。各講師は、一人一人の個性や尊厳が性別によって制限されず

詳細はこちらをご覧ください。

https://www.nwec.go.jp/event/training/g_kyoin2024.html

